



# 秋葉区もち麦プロジェクトについて

## 秋葉区のもち麦



1 寒冷地向けに作られた国内商業生産第1号「はねうまもち」(六条大麦もち性)を国の研究機関から持ち込まれた(株)白銀カルチャーが、**H28年**に試験栽培を行ったので「雪国生まれ**秋葉区育ち**」がキーワード。



## 「はねうまもち」とは

2 食物繊維が豊富で、水溶性繊維を多く含む。特に「βグルカン」は水に溶けることで粘り気が出て、体に**不要なものを包み込んで排出**したり、**糖質の吸収を遅らせる**(血糖値上昇の抑制)働きをする。  
※「βグルカン」の含有率 原品種の1.4倍

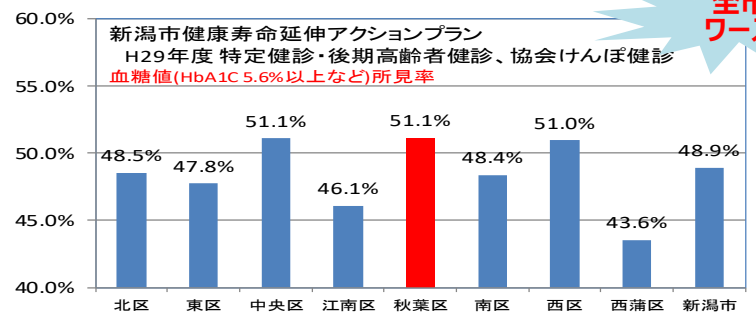
## 栽培の経過



3 「もち麦」栽培以前は、大麦(うるち性)を生産。当区で「ほ場整備事業」が行われていて、工事期間中は水稻栽培ができなかったため。しかし、大麦そのものの価格は安く(おおむね30円/Kg)、補助金等がなければ、収入の面で魅力に乏しい作物であった。「もち麦」は、食物繊維の効果で注目されていたため付加価値をつけやすく、また、ほ場整備期間も栽培できることから、収入確保が期待された。

## 区民の健康状況

新潟市健康寿命延伸アクションプラン  
H29年度 特定・後期高齢者、協会けんぽ健診  
血糖値(HbA1C 5.6%以上など)所見率



全市ワースト



## 販売店の現状

POSデータによる「もち性大麦」使用製品の売上高ランキング(2018年)  
農林水産政策研究所 吉田行郷氏分析資料  
首都圏(東京都、神奈川・埼玉・千葉県) 北陸(新潟・富山・石川・福井県)

順位	種別	販売金額シェア(%)
1	海外産	37.0
2	海外産	14.7
3	海外産	6.5
4	海外産	4.8
5	海外産	4.2
6	海外産	3.0
7	海外産	2.2
8	海外産	1.7
9	海外産	1.4
10	海外産	1.1
11	海外産	0.6
12	海外産	0.6
13	国内産	0.5
14	海外産	0.3
15	海外産	0.2
16	海外産	0.2
17	国内産	0.1
18	海外産	0.1
19	海外産	0.1
20	国内産	0.1
計		79.4

順位	種別	販売金額シェア(%)
1	海外産	43.2
2	海外産	20.9
3	海外産	3.9
4	海外産	3.2
5	国内産	1.1
6	海外産	0.5
7	海外産	0.2
8	国内産	0.1
9	海外産	0.1
計		73.2

上位9位までの国内産販売額シェア  
: 1.2%(前年は4.5%)

上位20位までの国内産販売額シェア  
: 0.9%(前年は5.6%)

POSデータ、日本経済新聞社デジタルメディア社

## 国内 六条大麦(もち麦含む)の作付面積順位

農林水産省「作物統計」令和元年産

ランキング	都道府県名	作付面積(ha)
1	福井県	4,550
2	富山県	3,180
3	茨城県	1,830

※新潟県は196ha(13位)





## 大麦の生産にかかる課題

1反あたりの収支比較

収入の  
約9割が補助金

種別	内訳	稲作(主食用コシヒカリ)	六条大麦(非ブランド化)
収入	販売価格	128,350円/反 (R01年度 仮渡金 @15,100円 × 8.5俵)	5,370円/反 (@30円/Kg 注1 × 179Kg 注2)
	補助金など	—	52,685円/反
	合計	128,350円/反	58,055円/反
支出	物財費、労働費、支払利子・ 地代など合計	100,055円/反	45,506円/反
収益	(収入－支出)	28,295円/反	12,549円/反

注1 条件等による

注2 六条麦の市基準単収



## 農福連携の動き 親和福祉会の活動など

- ・2015(H27)年に(社福)親和福祉会、(株)白銀カルチャー、新潟薬科大学、農研機構北陸研究拠点、新潟市農業活性化研究センター、当区からなる「秋葉区六条大麦プロジェクト」がスタート。
- ・2016(H28)年に精麦機、製粉機を導入し、ギフトパッケージも完成。G7農相会議で大麦クッキー等が使用される。丸麦、大麦クッキー等の販売、カフェでの大麦メニューを提供。
- ・2017年に新潟市のフードメッセに出展し、「6次化大賞特別賞」を受賞。
- ・親和福祉会全体で大麦の栽培に取り組むほか、「ステップファーム」用にサツマイモを作付けている。(大麦畑でも園児達の体験を実施)
- ・協力関係にある(株)白銀カルチャーから大麦を購入し、播種したり精麦・加工を行っている。大麦生産に当たっては、同社から技術面での指導等の支援を得ている。



名称を「秋葉区もち麦プロジェクト」へ

## 健康福祉、商業、教育への地域への広がり

- 健康レストラン(プロジェクトとのかかわりがある店舗)
  - ・・・飲食店などで、もち麦を使ったメニューを提供してもらうことで区民の健康増進に役立てる取り組みを行う。
  - もち麦の販売店舗含めR1調査時点 18店舗。
- 学校給食
  - ・・・R2.6月より秋葉区内の学校給食でもち麦ごはんを提供。
  - 幼いころから地元の特徴的な農産物に親しんでもらい、健康維持の理解を周知。
- もち麦パック
  - ・・・区内および市内での販売店舗を確実に増やしている。
  - 県内のウオロク、区内の原信、新津フード、JA新津さつき直売所、市内の直売所、ぽんしゅ館ほかで販売。
- 総合学習
  - ・・・R1より開始。新津第一小学校の4年生を対象にもち麦について授業を行う。
- 周知拡大
  - ・・・レシピ開発や商品開発



## 今後の方向性

首都圏等での周知

地域での周知

ブランドがため

価格を維持しながら  
区内の生産量拡大